

木村 たけつか

元衆議院議員



食料品の消費税率ゼロを柱に、
立憲民主党の緊急経済対策8.9兆円

キムタケ コラム

高市政権が船出した。自公から自維連立政権へ。政治とカネの問題の温床となっている企業団体献金の廃止に対しては先送りされ、議員定数削減を先行テーマに進んでいる。自維二党で強権的に決めることなく、小政党の意見も聞くために国会で審議すべきだ。

立憲民主党は、穏健保守・中道・リベラルの幅広い層を視野に置き、自由と多様性の尊重・支えあいの共生社会を目指し、人への投資・格差の縮小・国際協調の理念に基づく政策実現に努めて参ります。今後も、木村たけつかは皆様の声を聴き、それを政策につなげ、国民生活を全力で守り抜きます。

「暮らし・いのちを守り、賃上げを加速する緊急経済対策」

- ✓ 2026年10月から食料品にかかる消費税率を時限的にゼロ%にする
- ✓ それまでのつなぎ措置として「物価高・緊急支援金」を導入する
 - 中低所得者世帯1人あたり3万円、所得制限なく全ての子ども1人あたり2万円支給。
 - 中低所得世帯向け給付は、住民税が非課税となる世帯年収の3倍まで対象とする。
 - 4人世帯であれば年収700万円以下が目安となる。
- ✓ 経営難に苦しむ公立・公的、国立大学病院。民間などの病院に対し病床単位で支援。診療所に対してはレセプト単位での支援
- ✓ 介護・福祉・障がい福祉、訪問看護ステーションに対する支援
- ✓ 公立学校の老朽化対策や体育館等の空調設備対策
- ✓ トランプ関税の影響を受ける中小企業の資金繰り支援
- ✓ 財源には税収の上振れや外為特会余剰金などを活用し赤字国債は発行しない



東京29区 荒川全域・足立西部

伊興1～5丁目、伊興本町1・2丁目、入谷1～9丁目、入谷町、扇1～3丁目、興野1・2丁目、小台1・2丁目、加賀1・2丁目、栗原3・4丁目、江北1～7丁目、古千谷1・2丁目、古千谷本町1～4丁目、皿沼1～3丁目、鹿浜1～8丁目、新田1～3丁目、椿1・2丁目、舎人1～6丁目、舎人公園、舎人町、西新井1～7丁目、西新井栄町3丁目、西新井本町1～5丁目、西伊興1～4丁目、西伊興町、西竹の塚1・2丁目、東伊興1～4丁目、堀之内1・2丁目、宮城1・2丁目、本木1・2丁目、本木東町、本木西町、本木南町、本木北町、谷在家1～3丁目

プロフィール

S46年7月9日、神奈川県川崎市に小さな肉屋の長男として生まれる。小中学校時代は野球少年。高校時代はバレーボール部で活躍。持ち前の体力を活かし、住み込みで新聞配達・牛乳配達をしながら大学浪人生活を送る。貸与型奨学金を活用し日本大学経済学部入学し卒業。在学中に西川太一郎元衆議院議員（前荒川区長）秘書となる。

■ 墨田区議会議員2期・衆議院議員1期

■ 趣味：喫茶店でコーヒーを飲むこと ■ 好物：納豆と卵と玄米

事務所

〒106-0002
東京都荒川区荒川6-20-15
TEL 03-6807-7403
FAX 03-6807-7484
<https://www.kimutake.jp/>

ボランティア
募集中



日頃の活動



後援会入会